

各諮問事項についての説明

○公立幼稚園の適正配置について

本市においても少子化に加え、女性の就業率が高まり、就業形態の多様化に対応した保育サービスが望まれるようになってきています。このことにより、保護者のニーズは幼稚園から保育所（園）への動きも見られます。

特に、公立幼稚園では、年々園児数が減少し、子どもたちの育ちを保障するための望ましい集団の確保が難しい状況になってきています。

そこで、公立幼稚園の数、配置の見直し等、その方向性についてご提言をお願いいたします。

○幼保一元化の取り組みについて

国は、平成18年に、認定こども園制度をスタートさせました。このことは、幼稚園、保育所という現行制度の中で、幼稚園機能と保育園機能、子育て支援機能を合わせもった施設の推進を進めようとするものです。

一方、新たな施策として、保育に欠ける要件を撤廃し、所管、給付等を一本化した「こども園（仮称）」構想も出されており、幼保一元化については、国の動向を十分に見据えながら進めていく必要があります。

本市では、幼稚園と保育所の互いのよさを活かした保育のあり方を求め、交流保育や合同研修を実施しております。今までの成果と課題をもとに、桑名市における幼保一元化の進め方についてご提言をお願いいたします。

○公立幼稚園における学級の適正規模と複数年保育について

現在、公立幼稚園は、24園中10園で4歳児保育を実施しております。公立幼稚園を再編するにあたり、望ましい学級数・1クラスの定員、複数年保育について、私立との共存の観点を踏まえご提言をお願いいたします。

○私立と公立の共存について

本市では、「公・私立」「幼・保」の施設が互いのよさを理解し、協力し合って共存してきた長い歴史があります。しかし、近年の少子化、社会状況の大きな変化の中で、今一度、子どもや保護者の姿から、そのニーズや課題等の現状を出し合い、私立の役割、公立の役割についてご提言をお願いいたします。

○その他の事項について

以上4項目の協議の中で、見出された課題等についてご提言をお願いいたします。